

公益社団法人砥粒加工学会
微粒子技術専門委員会 第8回研究会（講演会）

～何ナノ微粒子って。微粒子の測定・評価から応用までその深淵を探る～

微粒子技術専門委員会では、このたび「何ナノ微粒子って。微粒子の測定・評価から応用までその深淵を探る」と題し研究会を企画しました。微粒子を作る上でも活用する上でも、その実態を正確に把握・評価することが肝要です。今回は微粒子の測定・評価技術を中心に、その理論から実践・応用まで幅広く情報提供いたします。常日頃微粒子を扱う方はもちろん、これから活用をご検討中の方もお役に立つものとなりました。また研究会後には拡大技術交流会を行いますので、併せてご参加くださいますようお願いいたします。

開催日時：2017年7月13日（木） 13:30～19:00

会場：日本大学駿河台キャンパス駿河台校舎8号館2階821教室（明治大学の裏、山の上ホテルの隣）東京都千代田区神田駿河台1丁目5 <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/index.html>

交通：JR中央線御茶ノ水駅、東京メトロ千代田線新御茶ノ水駅下車徒歩3分

内容：（司会：微粒子技術専門委員会・副委員長 大久保技術事務所 大久保 俊彦 氏、 運営委員 吉原伊知郎技術士事務所 吉原 伊知郎 氏）

13:00 受付開始

13:30～13:35 開会挨拶（微粒子技術専門委員会・委員長 千葉大学 森田 昇 氏）

13:35～14:25 講演「微粒子／ナノ粒子、その範囲と特徴、微粒子測定方法と特異な機能」

創価大学理工学部共生創造理工学科教授 松山 達 氏

概要：粉体を扱う場合に用いられる基本的な粒子測定の方法と、意外に知られていないその特徴、特に微粒子／ナノ粒子領域の測定の困難さと、その応用への的確な対応について、粉体工学の観点から俯瞰する。

14:25～15:15 講演「ナノ微粒子の粒径の違いによる機能とその応用」

日本粉体工業技術協会「ナノ粒子利用技術委員会」副委員長、

（株）栗本鐵工所執行役員 福井 武久 氏

概要：ナノ領域を含む微粒子には、その粒径によって様々な機能を発揮させることができる。粒子径の違いを測定し、それぞれどのような実務的応用ができるか、事例を挙げて解説する。

（休憩；15分）

15:30～16:10 講演「（液相中）ナノ粒子の”粒度分布測定”／分散性・凝集性を評価するパラメータ”ゼータ電位”の紹介及び実演」

スペクトリス（株） マルバーン事業部 プロダクトスペシャリスト（DLS・GPC） 松尾 亮太郎 氏

概要：溶液中に分散させたナノ粒子の評価手法として用いられている“動的光散乱法（DLS）”及びナノ粒子の分散安定性の指標として用いられる“ゼータ電位”について、原理ならびに測定上の注意事項、代表的なサンプルを用いての実演を行い、DLS について理解を深めていただくと共に、ゼータ電位についても身近なものにしていただく。

16:10～16:50 講演「微粒子の高精度分級加工／粒子径分布や粒子形状評価」

（株）セイシン企業 機器営業企画事業部 ブラント・計測器営業企画課

課長 上小澤 俊郎 氏

概要：3次元気流により高分散状態で分級できるスピニングエアシープとその評価として、個々の鮮明な粒子画像解析により、規格外粒子や形状の確認が出来る測定器 PITA-04を紹介する。また、微粒子の製造・計測業務の受託事業も紹介する。

16:50～16:55 事務連絡等

17:10～19:00 拡大技術交流会（場所未定）

19:00 解散（解散時刻は前後する場合があります）

参加資格・人数：当専門委員会委員（運営委員，専門委員，賛助委員），委員外（有料），最大117名（先着順で定員になり次第締切とさせていただきます）

参加費：当専門委員会委員：無料，委員外：10,000円

拡大技術交流会：参加費3,000円を希望者のみ別途申し受けます。

参加申込締切：平成29年6月30日（金）

問合・申込先：千葉大学大学院融合理工学府機械工学コース 加工物理学研究室 千葉 明 宛

E-mail: compt@cats-lab.com TEL:043-290-3224

参加申込方法：下記内容を compt@cats-lab.com までご連絡ください。

参加内容（研究見学会：出席／欠席，拡大技術交流会：出席／欠席）

氏名，勤務先・所属，連絡先（住所，TEL，FAX，E-mail），当日の連絡先（携帯番号等）